

火山本部地域講演会 in 鹿児島 火山と共に生きる

～火山研究と防災の最前線～

日時

2026年2月1日(日) 13:30～16:35

会場

鹿児島市中央公民館(ホール)

オンライン配信あり

鹿児島県には、桜島、霧島山など11の活火山がありますが、これらの活火山を対象に、日本を代表する優れた火山観測・研究などの取組が鹿児島で行われているのをご存知でしょうか。こうした取組に携わる火山の専門家の方々には、政府の火山調査研究推進本部（火山本部）でも、国の方針を定めるための検討や、全国の活火山を対象に行う火山活動の評価などで、多大な貢献をいただいています。

本講演会では、こうした鹿児島県内で火山研究・火山防災に携わる専門家、関係機関の担当者や、火山本部の事務局を務める文部科学省の担当者が、最新の研究や防災の取組について解説します。火山本部の取組を知っていただくとともに、火山への学びを深める機会として、ぜひご参加ください。

参加費無料

どなたでも参加できます

定員：先着300名

※事前登録優先

地域講演会特設サイト



https://www.mext.go.jp/a_menu/kaihatu/jishin/mext_00204.html

どなたでも無料で参加いただけますので、当日会場にお越しください。なお、入場は先着300名のため、事前登録いただいた方を優先します。事前登録につきましては、右のURL（二次元コード）にアクセスいただくか、メール（問い合わせ先）にてお名前、ご連絡先等をご登録ください。

kazanhonbu-kouen-r7kagoshima@ctie.co.jp

事前登録はこちら

締切:令和8年1月28日(水)



<https://forms.office.com/r/r7Ssf5eJ81>

写真：桜島（気象庁HPより引用）

主催：火山調査研究推進本部（事務局：文部科学省）、鹿児島地方気象台 後援：鹿児島県、鹿児島市、気象友の会

火山本部地域講演会 in 鹿児島

火山と共に生きる

～火山研究と防災の最前線～

2026年2月1日(日) 13:30～16:35

火山調査研究推進本部（火山本部）は、活動火山対策の強化に資することを目的とした改正活火山法に基づき、令和6年4月1日に文部科学省内に設置されました。政府の司令塔として、火山に関する観測・測量・調査研究を推進するとともに、その成果を広く一般に周知し、防災対策にご活用いただくために、全国各地で地域講演会を開催しています。

プログラム

13:30 主催者代表（文部科学省）挨拶

13:35 開催地（鹿児島市）挨拶

13:40 火山調査研究推進本部の取組

長谷部 大輔（はせべ だいすけ）
文部科学省 火山調査管理官

13:55 気象庁における火山監視と防災情報

前田 緑朗（まえだ ろくろう）
鹿児島地方気象台 台長

14:10 火山災害の特徴と桜島の大規模火山噴火

中道 治久（なかつみち はるひさ）
火山調査研究推進本部 政策委員会 専門委員・火山調査委員会 専門委員
京都大学防災研究所附属火山防災研究センター センター長・教授



火山災害は他の自然災害と異なる特徴があります。まず、災害発生までの前駆時間と、災害発生後の継続時間が長いことです。そして、災害を引き起こす現象が多岐に渡ること、そして同時発生する場合や、噴火が終わっても発生する現象があります。桜島では過去に大規模火山噴火が発生してきており、最後の大規模火山噴火から112年経過した今、再び大規模火山噴火の発生が懸念されています。

14:40 身近な火山で生きる力を養う

姥 千恵子（うば ちえこ）
桜島ジオサルク 事務局長（※桜島・錦江湾ジオパークで活動するガイド団体）



火山は、日常のあらゆるところでつながりを持ち、その風景や恵みは私たちの心身を支える存在であるだけでなく、火山を知り学べば、生きる知恵や力を養い自然災害から命を守ることに繋がります。桜島を鹿児島のシンボルとして暮らす私たちは、魅力的な火山が身近にあることを様々な見方で実感し、生きる力を火山から得て暮らし続けたいものですね。

15:10 休憩（10分）

15:20 トカラ列島近海の火山フロント近傍で発生した群発地震活動

八木原 寛（やきわら ひろし）
鹿児島大学 理工学域 理学系 准教授



2025年にトカラ列島近海で活動した群発地震に属する大部分の震央は、悪石島ーカッパ曽根（海丘）ー小宝島間の概ね線状に分布し、火山フロントに近いです。火山活動の関与が示唆されるカッパ曽根、小宝島周辺で認められる活発な地熱活動に近接することから、当該地域の浅海における噴火発生のポテンシャルとリスクについて考えます。

15:50 来るべき桜島大規模噴火対応のための研究戦略

井口 正人（いぐち まさと）
火山調査研究推進本部 火山調査委員会 委員
鹿児島市危機管理局危機管理課 火山防災専門官・桜島火山防災研究所長
京都大学 名誉教授



今後発生が予測される大正噴火級の大規模噴火が切迫すれば、桜島島内はもちろんのこと、島外においても噴火発生前の事前避難が必要となります。噴火ハザードの要因とその深刻度によって災害の起り方や規模が違います。火山観測データを活動評価に使うだけでなく、噴火の影響範囲とその深刻度の予測に用いる必要があります。

16:20 質疑応答（進行次第で省略の可能性あり）

16:30 閉会挨拶

◆プログラム・講演内容は変更となる場合があります。



展示コーナー

会場内には、火山調査研究推進本部、気象台、鹿児島県、鹿児島市の取り組みを見て・知って・学べるパネルや動画、また桜島噴火時の岩石などを展示しています。ぜひ、会場までお越しください。

会場

鹿児島市中央公民館(ホール)

鹿児島県鹿児島市山下町5-9



【アクセス】

- 市電「朝日通」電停下車、徒歩約5分
- バス「天文館」バス停下車、徒歩約10分、または「金生町」バス停下車、徒歩約5分

【駐車場】

施設の駐車場はありませんので、公共交通機関または近くの有料駐車場をご利用ください。



事前登録はこちら

締切:令和8年1月28日(水)



<https://forms.office.com/r/r7Ssf5eJ81>

お問い合わせ先: 火山本部地域講演会事務局
(株式会社建設技術研究所内) (文部科学省からの運営業務受託業者)
kazanhonbu-kouen-r7kagoshima@ctie.co.jp